

知の森へ2026 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
商 学 部	浅井義裕	ファイナンス&インシュアランス	保険リスクマネジメント論	セイヴィング・キャピタリズム	ラグラム・ラジャン ルイジ・ジングレス	慶應義塾大学	2006年	少し古いのですが、金融や保険を勉強することの面白さを教えてくれる本だと思います。
	阿武秀和	アブライド・エコノミクス	ゲーム理論	幸せのための経済学—効率と衡平の考え方—	斐沼宏一	岩波ジュニア新書	2011年	この本に書いてあるようなことが、ミクロ経済学の一番面白いところだと思っています。
	伊藤隆康	ファイナンス&インシュアランス	金融機関論	最後の防衛線 危機と日本銀行	中曾 宏	日本経済新聞出版	2022年	金融システムを守るために、日本の不良債権問題やリーマンショックなどに日銀がどのように対応したのかを克明に記述する。
	井上達樹	アブライド・エコノミクス	経済史	歴史は実験できるのか？ 自然実験が解き明かす人類史	ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A・ロビンソン 編著 小坂恵理 訳	慶應義塾大学出版会	2018年	因果推論の水準を飛躍的に向上させた「自然実験」により歴史を解き明かす良書。歴史研究の可能性が感じられます。
	太田壘	ファイナンス&インシュアランス	国際金融論	コンテナ物語 世界を変えたのは「箱」の発明だった	マルク・レビンソン	日経BP	2019年	グローバル経済を支える背景を、より深く理解できます。
	大津健登	グローバル・ビジネス	貿易総論	バナナと日本人	鶴見良行	岩波書店	1982年	食卓を彩るバナナからみえる世界。生産・流通・労働・消費の結びつきを通じて、貿易やグローバル化を考え、私たちの日常生活との関係を思索してみよう。
	小田康治	アカウンティング	業績管理会計論	ドラッカー365の金言	P.F.ドラッカー著 ジョゼフ・A・マチャレロ編 上田惇生訳	ダイヤモンド社	2005年	本自体が「日めくりカレンダー」。1日1頁の読書。1年後には諸君の「眼差し」が大きく変わるであろう。
	小原英隆	ファイナンス&インシュアランス	金融総論、金融論	『パーソナルファイナンス：プロフェッショナルFPのための理論と実務』	ルイス・J・アルトフェスト	日本経済新聞出版社	2013年	FP先進国米国でFP実務30年以上が書いた体系的なFP実務書。明大図書館所蔵で無料で読める。
	恩田睦	マーケティング	都市・地域交通論	スモール イズ ビューティフル—人間中心の経済学	E・F・シューマッハー	講談社学術文庫	1986年	豊かな国、豊かな社会とはどのようなものかを考える一助にしてください。
	加藤拓巳	マーケティング	マーケティング管理論	ジョブ理論	Christensen, C.	ハーバーコリンズ・ジャパン	2017年	
	加藤達彦	アカウンティング	監査論	つきあい方の科学	R・アクセルロッド	みすず書房	1998年	不正の原点は、日常の何気ない行動まで説明できる、ある原理にあるかもしれません。お互い騙されないように。
	神田良介	アカウンティング	税務会計論	通州事件 目撃者の証言（自由社ブックレット 第5巻）	藤岡 信勝	自由社	2016年	その昔 China(支那)の政治的意図のもとに創作され、「南京だいきやくさつ」と雷(か)つては称されていたプロパガンダとは違い、この通州事件は共にChina(支那)人によって組織された「保安隊」と学生らとが、昭和十二年に通州の日本人居留民(つまり非戦闘員)二百人余りに対して行った文字通りの【大虐殺】の事でありそれは心有る人々の胸に今も尚 激然たる史実として 刻まれています。一方人によるとされる自国民をChina(支那)の独裁政権が実効門広場をはじめとする各地に於いて虐殺したのは、通州事件から五十二年を経た年の 六月四日の事でした。論議もなく信教に及ぶのはその様な民族の伝統を有するが故と考えます。「この事の脅威に疾(とく)目覚めよ！」と、通州事件の記憶が 警鐘を乱打している かの如く、私には思われます。
	菊池一夫	マーケティング	商業経営論	コラーのマーケティング5.0 デジタル・テクノロジー時代の革新戦略	フィリップ・コラーほか	朝日新聞出版	2022年	マーケティングの大家であるコラーらの「マーケティング5.0」では、人間尊重の原理とデジタル技術を用いたマーケティングの両立が主張されています。現代のマーケティングを読み解く良書です。
	久保隆光	マネジメント	労使関係論	若者と労働	濱口桂一郎	中央公論新社	2013年	新卒採用、就活の視点から日本企業での働き方の特徴を教えてくださいます。
	小林尚朗	グローバル・ビジネス	貿易政策論	アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？	カトリーン・マルサル	河出書房新社	2021年	基本的にフェミニズムの本ですが、経済学の問題点、グローバル経済の問題点、日本社会の問題点を考える手がかりになります。
	塩澤恵理	グローバル・ビジネス	バーバル・ビジネス英語	What I Wish I Knew When I Was 20	Tina Seelig	Harper Collins	2009年	ビジネスの場面にとどまらず、日常において生きる姿勢・やる気を起こさせるインスピレーションな人生の指南書。
	高野公三子	クリエイティブ・ビジネス	ビジネス・インサイト	ひとはなぜ服を着るのか	鷲田清一	ちくま文庫	2012年	初出は1998年、日本放送協会NHKライブラリー。日本の哲学者で評論家、大阪大学名誉教授の鷲田清一のファッションを題材とした社会とアイデンティティのあいだを生きる「わたし」を再考させてくれる一冊。
	高橋昭夫	マーケティング	商品学	社会が変わるマーケティング 民間企業の知恵を公共サービスに活かす	フィリップ・コラー／ナンシー・リー著 スカイライト・コンサルティング訳	英治出版	2007年	ソーシャル・マーケティングの今日的意義を検討してみよう。
	高浜光信	アブライド・エコノミクス	国際経済学	経済政策で人は死ぬか？：公衆衛生学から見た不況対策	デヴィッド・スタックラー／サンジェイ・パス著 橋明美／臼井美子訳	草思社	2014年	経済政策の結果、人が死ぬこともあるのです。
	竹内亮介	マーケティング	広告論	Marketing Theory: Foundations, Controversy, Strategy, Resource-Advantage Theory	Shelby D. Hunt	M.E. Sharpe	2010年	本書を読むことは学部生にとって決して簡単ではないかもしれませんが、その分、マーケティング研究やマーケティング論に対して非常に深い洞察を得ることができます。
竹村正明	マーケティング	商業総論	マルクス主義の主要潮流：その生成・発展・崩壊	レシエク・コワコフスキ	同時代社	2024年	資本論は難解で、通読できた人は例外ですが、マルクス主義は今でも労働者の一部を魅惑しています。これはキャンペーンです。なぜこのようなマーケティングが成功したのでしょうか。コワコフスキは理論と実践を結び付けたと言います。マーケティング学徒は知っておくべき成功例です。	
千葉修身	アカウンティング	簿記学 原価計算論	会計学本質論	富上一男	森山書店	1980年	会計は他の社会科学にはない特異な性質をもつ。形式こそが実質。その極意を本書で会得しよう。目から鱗。	
土屋陽一	ファイナンス&インシュアランス	金融論	計量経済学	西山慶彦、新谷元嗣、川口大司、奥井亮	有斐閣	2019年	データを分析する力を身につけよう。	
出見世信之	マネジメント	経営哲学 企業と倫理	実力も運のうち—能力主義は正義か？	マイケル・サンデル	早川書房	2021年	本書は、現代アメリカにおける格差や分断などの課題について、能力主義という観点から考察している。日本企業においても、しばしば能力主義の導入が求められているが、本書は、それによりどのような課題が新たに生じることになるのか、また、導入に反対する人はどのような考えを持っているのかを理解するのに役立つ。	

知の森へ2026 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
商学専門	所康弘	グローバル・ビジネス	貿易論	奴隷制の歴史	ブレンダ・E・ステイブソン	ちくま学芸文庫	2023年	世界のすべての地域、すべての時代に存在する奴隷制の歴史を、その制度の最も嫌悪すべき頂点となったアメリカ合衆国での実態を中心に、アフリカ系アメリカ人研究の第一人者が綴る。
	富野貴弘	マネジメント	生産管理論	人工知能はなぜ椅子に座れないのか:情報化社会における「知」と「生命」	松田雄馬	新潮社	2018年	AI(人工知能)の本質について論じている良書。世に溢れる浅薄な議論に惑わされないためにも読んでほしい。
	中林真理子	ファイナンス&インシュアランス	保険学	日本商法・保険学/ハイオニア 志田舜太郎の生涯	志田俊郎	文芸社	2015年	研究分野としての保険学の重要性と、明治大学商学部で学んでいることの意味を再認識できる一冊です。
	名越洋子	アカウンティング	会計情報論	新・現代会計入門	伊藤邦雄	日本経済新聞出版社	2014年	ビジネスパーソン向けの会計入門書と釘打っているものの、レベルは高い。しかし、具体的な事例が豊富で、現実に仕事を上での会計の意識が高まる。ビジネスパーソンの立場を経験することもできる。
	奈良沙織	アカウンティング	企業評価論	新・企業価値評価	伊藤邦雄	日本経済新聞出版社	2014年	具体的なデータや事例を多く扱っており、理論とともに日本企業の現状も学べる良書。
	野田顕彦	ファイナンス&インシュアランス	証券市場論	ウォール街のランダム・ウォーカー<原著第13版> 株式投資の不滅の真理	バートン・マルキール著、井手正介訳	日本経済新聞出版	2023年	株式投資に関する名著です。大学を卒業するまでに一度は読んでみることをおすすめします。
	萩原統宏	ファイナンス&インシュアランス	金融取引論	日本でいちばん大切にしたい会社(シリーズ)	坂本光司	あさ出版	2008年~	「会社とは何か」「働くとはどういうことか」などについて、多くのメッセージを含んだ本です。
	畑農鋭矢	アブライド・エコノミクス	公共経済学・財政学	基礎からわかる 論文の書き方	小熊英二	講談社現代新書	2022年	社会科学分野の論文の書き方テキストとしては現時点でベスト。卒論やグループ論文の執筆前に読んでおくことを推奨する。
	原頼利	マーケティング	流通システム論	市場を創る:パズールからネット取引まで	ジョン・マクミラン 瀧澤 弘和/木村 友二訳	NTT出版	2007年	市場がどのように機能するのかということを問題とし、市場が機能する上で制度の重要性について述べている。
	深澤光樹	グローバル・ビジネス	貿易政策論	今すぐ格差を是正せよ!	ベン・フィリップス	筑摩書房(ちくま新書)	2022年	一見硬直的に見える社会は、人々の有機的なつながりのなかで絶えず変化してきた。人々の働きかけが社会に変化をもたらしてきたという歴史的連続性を振り返り、著者は私たち一人ひとりが人生においても社会においても主人公なのだとする。
	福田康典	マーケティング	市場調査論	社会のイメージの心理学	池田謙一	サイエンス社	1993年	商学に関わる現象がいかに曖昧でもろく、見る側によって干渉されているのかを理解するための入門書です。
	藤井秀登	マーケティング	交通論 観光事業論	英書坑儒のすすめ -エコノミストの恣意を思惟して	西部邁	ミネルヴァ書房	2009年	市場(経済)を正確に認識するためには、歴史感覚を磨くことが大事だとあらためて教えられます。
	藤井陽一郎	ファイナンス&インシュアランス	損害保険論	リスク、不確実性、そして想定外	植村修一	日経新聞社出版	2012年	リスクとは何か、リスクをいかにコントロールするかを多くの事例から解説しています。
	前田陽	アカウンティング	意思決定会計論	コストデザイン:トヨタ/研究者の実践コミュニティ理論	岡野浩/小林英幸 編	大阪公立大学共同出版会	2015年	原価企画を生み出したトヨタ自動車の技術者たちが当事者の目から開発・設計を論じている貴重な書籍です。
	町田一兵	マーケティング	国際交通論	Door to Door	Edward Humes	Harper Collins Books	2016年	ジャーナリストが書いた本で、今の世界をモノの輸送という視点で分かり易く説明してくれる一冊です。
	松原有里	アカウンティング	租税法	国際租税法(第3版)	増井良啓/宮崎裕子著	東京大学出版会	2015年	国家間の課税競争が企業や人々の行動にどのような影響を及ぼすか、この本でよく理解できると思います。
	水谷淳	マーケティング	物的流通論	なぜタクシーは動かなくてもメーターが上がるのか—経済学でわかる交通の謎	竹内健蔵	NTT出版	2013年	日常生活に不可欠な交通にまつわる素朴な疑問について、経済学を使って理解する方法を解説してくれます。
	水野勝之	アブライド・エコノミクス	計量経済学	ソフト経済小説で読む超高齢化社会	水之夢瑠/椋田療	晃洋書房	2018年	小説を読みながら経済学が学べる。新しい形の経済書である。
	水野誠	クリエイティブ・ビジネス	クリエイティブ・マーケティング論	ブルデュー社会学で読み解く現代文化	片岡栄美・村井重樹	晃洋書房	2024年	何気なく行っている音楽や食などの消費から現代社会の構造を探る...本書は日常への新しい見方を提供します。
	三和裕美子	ファイナンス&インシュアランス	機関投資家論	敗者のゲーム	チャールズ・エリス著 鹿毛雄二訳	日本経済新聞社		「敗者のゲーム」とは市場に勝つために無駄な努力をすること。この本は、証券投資の哲学、そして長期的な資産運用の戦略と指針を示しています。
村田潔	マネジメント	経営情報システム論	監視資本主義:人類の未来を賭けた闘い	ジョシュアナ・ズボフ	東洋経済新報社	2021年	巨大ICT企業を中心とする現在の企業のビジネスモデルの特徴と、その社会的問題点について考えるための視点を与えてくれます。	
山下洋史	マネジメント	情報管理論	あいまい工学のすすめ -新しい発想からの工学	寺野寿郎監修	講談社(ブルーバックス)	1981年	人間や組織の意思決定における情報のあいまいさをどのように取り扱うかを解説した入門です。	
山田知明	アブライド・エコノミクス	経済学 経済政策論	良き社会のための経済学	ジャン・ティロー	日本経済新聞社	2018年	ノーベル経済学賞を受賞した著者による共通善(Common Good)のあり方と経済学の役割を語った名著。	
山本昌弘	アカウンティング	国際会計論	21世紀の資本	トマ・ピケティ	みずす書房	2014年	大著ですが、長期的かつ国際的な視点で経済を論じつつ事の面白さが凝縮されています。	

知の森へ2026 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
総合学際	浅賀宏昭	総合教育科目(人間と自然)	生命科学 バイオテクノロジーとバイオシネ ス	遺伝子医療革命ーゲノム科学がわたしたちを変える	フランスコ・S・コリンズ著 矢野真千子・訳	日本放送出版協会	2011年	近未来の「パーソナルゲノム医療」について、ユーモアも交えて解き明かしている点が素晴らしい本です。
	浅間哲平	外国語科目(フランス語)	フランス語	『椿姫』(1848)	デュマ・フィス	新潮文庫	1950年	社交界の恋に慣れない青年がその道のプロ「椿姫」と出会う。父親の介入、誤解、そして破局。お決まりの話ですが泣けます。
	石黒太郎	外国語科目(英語)	英語	あいつと私	石坂洋次郎	新潮文庫	1967年	小説の中ではあるが半世紀前の学生像と自分の大学生活を比べてみよう。大学を卒業してから後悔しないよう。
	石出靖雄	総合教育科目(文化と芸術)	日本語表現論	日本語表現学を学ぶ人のために	糸井通浩／半沢幹一	世界思想社	2009年	日本語表現を学ぶための入門書。日本語表現研究の現在が一覧できます。
	井関睦美	外国語科目(スペイン語)	スペイン語	認知意味論ー言語から見た人間の心	ジョージ・レイコフ著 池上嘉彦／河上整作訳	紀伊国屋書店	1993年	人間の思考の仕組みを、認知科学の視点から分析した研究書。日常使う言葉一つ一つに新たな発見があるはず。
	海田皓介	外国語科目(英語)	英語	発想法	川喜田二郎	中公新書	1967年	情報をまとめ、アイデアを練る方法を教えてください。
	加藤健太	外国語科目(英語)	英語	会話を哲学する コミュニケーションとマニピュレーション	三木 那由他	光文社	2022年	言葉は愛情の印にも、暴力にもなりません。「論破」などが話題になってしまう現代において、会話の性質を考えるのに最適な本です。
	鴨井祐二	総合教育科目(人間と自然)	線型数学 解析数学	ゲームの理論と経済行動 I,II,III	J.フォーン ノイマン/ O. モルゲンシュテルン著	ちくま学芸文庫	2009年	原典を読むといろいろ学べます。
	北田葉子	総合教育科目(文化と芸術)	西洋文化史	嘘と貪欲: 西欧中世の商業・商人観	大黒俊二	名古屋大学出版会	2006年	商業はかつては軽蔑されていた！蔑視されていた商業が認められていく過程、そして利子や為替、公正価格論などについてのキリスト教の思想家たちによる議論。壮大な商業の精神史を知ってほしい。
	木村至聖	総合教育科目(地域と社会)	社会学	私たちの戦争社会学入門	野上元	大和書房	2025年	私たちがふだん、いかに戦争について「考えない」ことにしているか、思い知らされます。
	黒崎典子	外国語科目(日本語)	日本語	言語の脳科学-脳はどのようにことを生みだすか-	酒井邦嘉	中公新書	2002年	言語学と認知脳科学。幅広い分野を勉強することが、より深い学びへ繋がるかと実感できる一冊。
	小宮彩加	外国語科目(英語)	英語	大いなる遺産	チャールズ・ディケンズ著 山西英一訳	新潮文庫	1951年	イギリスを代表する十九世紀の小説家ディケンズの晩の傑作。立派な紳士になりたいピップの成長の物語。
	今野史昭	外国語科目(英語)	英語	冬物語	ウィリアム・シェイクスピア著 松岡和子訳	筑摩書房(ちくま文庫)	2009年	喜劇や悲劇とは一味違うシェイクスピアのロマンス劇。驚きと感動の結末が待っています。
	笹生心太	保健体育科目	体育・スポーツ実習	体育会系:日本のスポーツ教育が創った特異な世界	小野雄大	中央公論新社	2026年	一般的に、体育会系学生は優秀と思われるがちですね。でも、それ本当なの？ということや、歴史的・社会的に問い直す一冊です。
	佐々木美加	総合教育科目(人間と自然)	心理学	避難学「逃げる」ための人間科学	矢守克也	東京大学出版会	2024年	首都直下地震が起きたら命を守れますか？京大防災研の矢守氏が提唱する人間科学に基づく避難学で考えよう。
	澤井和彦	保健体育科目	体育・スポーツ実習	大相撲の経済学	中島隆信	筑摩書房	2008年	相撲の八百長にはきちんとした理由がある・・・精神論ではない経済的根拠に基づく本質的な議論のために。
	清水克行	総合教育科目(文化と芸術)	日本文化史	一揆	勝俣鎮夫	岩波新書	1982年	中世に生きた人々の思想と行動力を社会史的手法で分析した名著！
	清水真木	総合教育科目(人間と自然)	哲学	流れとよどみー哲学断章	大森莊蔵	産業図書	1981年	身近な事柄を手がかりに哲学固有の問題領域を切り拓くエッセー集。
	高橋三和子	外国語科目(英語)	英語	Beauty, A Very Short Introduction	Roger Scruton	Oxford University Press	2011年	オックスフォード大学出版局'A Very Short Introduction'シリーズ。「美」とは人間にとっていかなるものかを様々な角度から探る。「美」について一度深く考察し、教養の幅を広げよう。
	瀬口美香	外国語科目(英語)	英語	ムネモシユネー文学と視覚芸術との間の平行現象	マリオ・プラーツ著 高山宏訳	ありな書房	1999年	芸術作品とは宇宙に存在するものの中で唯一、内的調和を持つもの。その豊かさの一端に触れてみたい人へ。
鳥居高	総合教育科目(地域と社会)	アジア史 東南アジア政治経済論	一世界ーを変えた<標準革命>ー	橋本毅彦	講談社 学術文庫	2013年	「標準化」をキーワードにして、ものづくりの歴史を描いた名著。もの作りの新しい側面がわかります。	
永井善久	総合教育科目(文化と芸術)	日本近代文学	新版 文学とは何か	テリー・イーグルトン著 大橋洋一訳	岩波書店	1997年	名著として知られる文学理論書です。併せて現代思想をわかりやすく解説しています。卒業までには是非一読を！！	
中川秀一	総合教育科目(地域と社会)	地理学 産業立地論	働くことの小さな革命ールポ 日本の「社会連帯経済」	工藤律子	集英社新書	2025年	働き方を通じて人々と連帯する、自分らしい生き方を創造する新たな試みが、新しい社会への扉を開くことを示す書	
中島涉	外国語科目(英語)	英語	面接の達人シリーズ	中谷彰宏	ダイヤモンド社		就職しなきゃこれを読め。…とは言わないが、職を得るために必要な作法は学んでおいた方がいいだろう。	
中村成里	総合教育科目(文化と芸術)	日本古典文学	春の雪	三島由紀夫	新潮社	2020年	成就し得ない恋、交錯する感情、発せられないままに消えた言葉。言語化できなかった感情がよくわかります。	

知の森へ2026 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
総合学際	西山春文	総合教育科目(文化と芸術)	日本近代文学	海も暮れきる 新装版	吉村昭	講談社文庫	2011年	「咳をしても一人」—極限状況から生まれる簡素な言葉の力。でも、まねしないで下さい。
	広沢絵里子	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	教養のドイツ現代史	田野大輔・柳原伸洋(編著)	ミネルヴァ書房	2016年	現代ドイツに関する多数の映画作品や音楽などが紹介されています。図書館で手に取ってみてください。
	洞口拓磨	総合教育科目(人間と自然)	物理学	春風夏雨(角川ソフィア文庫)	岡潔	角川書店	1969年	「人の情緒は固有のメロディーで、その中に流れと彩りと輝きがある」数学者である著者が、学問における情緒の大切さを教えてくれます。
	松原陽子	外国語科目(フランス語)	フランス語	富士山の文学	久保田淳	角川ソフィア文庫	2013年	富士山が文学作品において、どのように描かれてきたのか知ることができます。
	水谷尚子	外国語科目(中国語)	中国語	シベリア記 遙かなる旅の原点	加藤九祚	論創社	2020年	国や専門分野を問わず、多くの人に慕われ、ウズベキスタンで遺跡発掘中に94歳で倒れた著名な考古学者のシベリア抑留記。歴史の流れや人の一生に思いを馳せてほしい。
	三田剛史	外国語科目(中国語)	中国語	脱=社会科学	イマニュエル・ウォーラーステイン	藤原書店	1993年	原著出版から30年を経て、今もなお19世紀社会科学が生き延びているのはなぜか。
	森永由紀	総合教育科目(人間と自然)	自然科学概論 環境科学	論文捏造	村松秀	中央公論新社(中公新書ラクレ)	2006年	史上空前の捏造、米国ベル研シェーン事件について綿密な取材を元に書かれた本。読み終わるまで眠れません。
	安原伸一郎	外国語科目(フランス語)	フランス語	マイケル・K	J.M.クッツェー	岩波文庫	2015年	「こんなふうにしても人は生きていける」という本書の言葉に辿り着いたとき、きっと世界は違って見えることでしょう。
	李英美	外国語科目(朝鮮語)	韓国語	「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし	加藤圭木・監修、 一橋大学社会学部加藤圭木ゼミナール・編	大月書店	2021年	いまさら聞けない、日常の生活でぶつかる、目にする、耳にする日本と韓国のことを、みなさんと同じ目線で大学のゼミ生たちが感じたことや考えたことなどを、ゼミで話し合ったことを綴った本です。
	ルブレクト・ブライアング	外国語科目(英語)	英語	Illusions: The Adventure of a Reluctant Messiah	Richard Bach	Arrow Books Ltd.	1977年 (2001年)	ほとんどのアメリカ人はこの本を知っています。多くのインスピレーションを与える本です。
渡辺徳美	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	ぼくの兄の場合	ウーヴェ・ティム	白水社	2018年	ドイツの人気作家は2003年、19歳で武装親衛隊として戦死した自分の兄と家族について書き、「ナチズムの過去」と「戦後の記憶」に関する様々な問いを読者に投げかけている。	